

2007年度同志社大学大学院
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程
入学試験問題　〔小論文〕

第1問

次頁以下の統計資料を読み解き、「2050年の我が国の高齢社会」というテーマで、解説記事を書きなさい。字数は、600字以内とする。なお、解答に際して、以下の点に注意すること。

注意点

- (1) 高齢者とは、65歳以上の人をいう。高齢化率とは、総人口に占める高齢者人口の割合をいう。ここでは、高齢化率が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」と考えることにする。
- (2) 「老年人口」とは65歳以上人口を、「年少人口」とは15歳未満人口を、「生産年齢人口」とは15歳以上65歳未満人口をいう。
- (3) ①「我が国の高齢社会の現在」、②「2050年の我が国の高齢社会の予想される姿」、③②の姿を作り出す諸要因の3点については、読者が明確なイメージを持つことができる解説記事に仕上げるように心がけること。
- (4) 諸外国、特に東アジアの諸国との比較を必ず書き込むこと。
- (5) 解説記事を書く際の論拠づけは、すべて、統計数字で行なうこと。統計資料の数値を引用する場合、数値が統計資料に明記されている場合はその数値を、明記されていない場合は、おおよその数値を読み取り引用すること。なお、統計資料で、外国名の出てこない資料はすべて日本のみに関係する統計資料である。
- (6) 本問は、解答者の統計学上の能力を問うことを目的にしていない。

【統計資料の掲載は、省略。】

- 資料1　1950～2050年における人口規模の推移（千人）〔表〕
- 資料2　1950～2050年における老年人口比率の推移（%）〔表〕
- 資料3　1950～2050年における年少人口比率の推移（%）〔表〕
- 資料4　1950～2050年における生産年齢人口比率の推移（%）〔表〕
- 資料5　1950～2050年における乳児死亡率の推移（‰）〔表〕
- 資料6　1950～2050年における平均寿命の推移（年）〔表〕
- 資料7　1950～2050年における合計特殊出生率の推移〔表〕
- 資料8　1950～2050年における主要国の65歳以上人口割合の推移〔グラフ〕
- 資料9　人口高齢化速度の国際比較〔表〕
- 資料10　出生、死亡および自然増加の実数ならびに率：中位推計〔表〕
- 資料11　年齢階級別未婚率の推移（%）〔表〕
- 資料12　性別生涯未婚率及びSMAM（静態平均初婚年齢）：1920～2000年〔表〕
- 資料13　離婚件数及び離婚率の年次推移〔グラフ〕

第2問

以下に掲げる「嘘」をテーマとする抜粋文を読んで、嘘を複数のカテゴリーにできるだけ論理的に分類しなさい。その際、自分の採用した分類基準を簡潔に説明するとともに、各カテゴリーにつき、適切な例を一つずつ挙げなさい。

(1000字以内)

【抜粋文の掲載は、省略。】

<抜粋文1>

出典：加藤周一「嘘について」（朝日新聞、2000年6月22日夕刊、「夕陽妄語」）から抜粋

<抜粋文2>

出典：「心の鏡⑧ うそは人間社会の潤滑剤」（日本経済新聞、1982年11月22日朝刊、「ことばのサイエンス」）から抜粋

<抜粋文3>

出典：「ウソも方便！ 人間関係を円滑に」（読売新聞、2003年6月26日夕刊、「いぶにんぐスペシャル」）から抜粋

<抜粋文4>

出典：稲垣吉彦「うそ」（日本経済新聞、1986年7月13日朝刊、「ことば 世相 コトバ」）から抜粋

<抜粋文5>

出典：込山敬一郎「ウソと日米の相違」（読売新聞、1987年7月24日朝刊、「とれんど」）から抜粋

<抜粋文6>

出典：「うそも方便と言うけれど」（朝日新聞、1988年5月25日朝刊、「死を見つめる 読むクリニック③」（松岡寿夫 国立西埼玉中央病院第二外科医長へのインタビュー記事））から抜粋

<抜粋文7>

出典：「余録」（毎日新聞、2002年6月29日朝刊）から抜粋

<抜粋文8>

出典：「言い訳」（産経新聞、1994年2月14日朝刊、「新つきあいの常識－26－」）から抜粋

(出題との関係で、抜粋文には見だし等を省略するなどの修正を加えている)

第3問

次の文章を読んで、以下のすべての問いに答えなさい。

- (1) 「悪法もまた法なり」という主張に含まれる意味を整理して、150字以内で述べなさい。
- (2) 「悪法は法に非ず」と主張される場合、そこに含まれている意味を整理して、150字以内で述べなさい。
- (3) 「悪法もまた法なり」と「悪法は法に非ず」という対立命題に関して、著者はどのようにしてさらなる考察を進めようとしているか。200字以内で述べなさい。
- (4) 「悪法もまた法なり」と「悪法は法に非ず」という対立する主張を調整することはできるか。できるとすれば、どのようにしてか。具体的事例を挙げて、あなたの考えを、300字以内で述べなさい。

【文章の掲載は、省略。】

出典：小林直樹『法・道徳・抵抗権』（日本評論社、1988年）237頁～246頁から抜粋。
出題との関係で、見だし等を省略するなどの修正を加えている。